

昔話のあらすじと、正しい「題名」を線で結びましょう

1

年よりの木こりと若い木こりが山で木を切っていました。その山は「まもの」がでるといううわさがあり、年よりの木こりは「まもの」が出ないかと警戒していました。

- 分福茶釜

2

雨がふるたびにながれてしまう橋がありました。村人たちから橋を作るようにたのまれた男がなやんでいると、おにが「お前の目玉と引きかえに橋を作ってやる」と言い、橋を作ってしまった。

- 牛鬼ぶち

3

お茶のかまに変身していた「たぬき」がひよんなことからまずしい男に引き取ってもらい、つなわたりなどの芸を見せてお金をかせぎ、男はお金持ちになりました。

- 大工と鬼六

4

心優しいおじいさんと意地悪なおばあさんが暮らしていました。ある日、おじいさんが畑から家へ戻る途中、怪我をしている動物を見つけました。かわいそうに思ったおじいさんは家に連れていき、手当てをしてあげました。

- 舌切り雀

